

このたびはR型スピーカースイッチユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」と、取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

○本機は、ユニペックスラックシステム組込用のリレー制御型一斉付10回線のスピーカースイッチユニットで、出力リレーユニットRIU-2301Aと組合わせて使用するようになっています。

○本機は2台増設することができます。

○本機には外部制御入力端子に6つの機能が設定されています。(チャイム放送、リモコン、ページング用など)

○ラックの組込み方法は、EIAサイズラックの取扱説明書をご覧ください。

○本機の標準的な組合わせに対応した別売の各種接続用コードがあります。

## 目次

安全上のご注意	2~3
使用上のご注意	3
各部の名称と説明	4
本機の動作(出荷時の設定)	5
各種の機能	6
各機能の設定のしかた	7~8
外部制御の機能設定方法	9
一斉スイッチの機能の変更	10
回線別選択スイッチで、スピーカー回線のグループ制御をする方法	10
制御信号に優先をつける方法	10~11
ページング設定の実際例	11
増設	12
外線接続ユニット RIJ-3091への取付方法	13
端子表1(10回線仕様するとき)	14
端子表2(20・30回線・端子表1に追加)	15
端子表1	16
端子表2	17
定格	18
外観寸法図	20
サポートのご案内	20
保証書	20

# 安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

## 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグをコンセントから抜く

### 分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



### 異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)



### 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。



### 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



### 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



### 雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない

感電の原因となります。



ラックにマウントする際は説明に従って付属の金具を正しく使用し、固定してください。取付けに不備があると落下したりしてけがの原因となります。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



### 不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



**⚠ 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



### 異常に温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



### 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。



プラグを  
コンセントから  
抜け

### お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



プラグを  
コンセントから  
抜け

### 電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



### 電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



### 長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



### 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



### 移動するときは、コード類を傷つけない

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



プラグを  
コンセントから  
抜け

### この機器に乗ったり腰掛けたりしない

特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。



## 使用上のご注意

- 外部より制御する場合には必ずダイオードマトリックスにダイオードを組込んでください。
- 本機は、D型スピーカースイッチユニットRIS-D101と接続することはできません。
- 本機で直接、スピーカー回線の入・切はできません。
- 付属の機器受金具は必ず使用してください。

端子表(16~17ページ)に端子接続を記載して保管してください。接続の変更時は、必ず端子表も合わせて変更してください。

## 各部の名称と説明

### 回線別表示部

それぞれ設定された回線場所を記入してください。

### ラック取付穴

付属のねじでラックに取付けてください。

### 回線別選択スイッチ

(1~5回線)

それぞれの必要回線を押してください。再び押しますと切れます。

### 回線別選択スイッチ

(6~10回線)

それぞれ必要回線を押してください。再び押しますと切れます。

### 使用中表示部

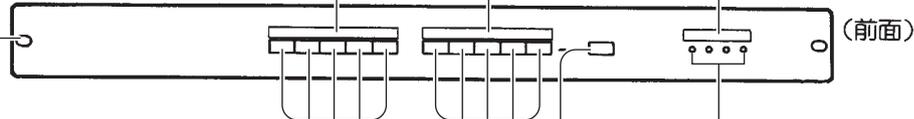
設定されたものを記入してください。

### 使用表示灯(赤)

リモコンなど、外部より本ラックを制御したときに、それぞれ表示灯を点灯させることができます。(外部制御の機能設定法の⑥使用中表示灯の設定の項を参照。)

### 一斉スイッチ(オール)

このスイッチを押すことにより、回線別選択スイッチに関係なく全回線が動作します。再び押しますと切れます。



各ユニットとの接続方法については、RUX-3210 の取扱説明書をご参照ください。

### JC4 制御用コネクタ

外部からの制御信号入力用コネクタです。

### JC5 予備

### JC8 予備

### JC3A JC3B 制御用コネクタ

外部からの制御信号入力用コネクタです。

### JC1 制御用コネクタ

増設入力用です。

### JC7 制御用コネクタ

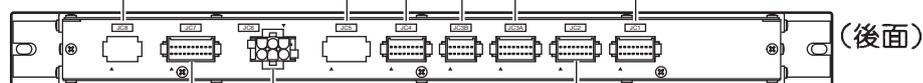
出力リレーユニットRIU-2301Aと接続します。

### JC6 制御用コネクタ

ミキサーユニットRUX-3210と接続します。

### JC2 制御用コネクタ

増設ユニットと接続します。



注)コネクタ付近の三角マークはコネクタの1番ピンの位置表示です。

## 本機の動作（出荷時の設定）

### ① 特徴

リモコンやページングなどの外部制御や、回線スイッチとスピーカー回線（放送区域）との関係を任意に設定できます。（リモコン、ページング、チャイム放送用など設定しています。）一斉スイッチは一斉放送から一斉緊急放送に変更できます。外部制御の使用中表示をすることができます。制御入力に優先をつけることもできます。（オプション組込時）本機の回線別及び一斉のスイッチは、ミキサーユニットの電源起動スイッチを「入」にした場合にのみ有効です。

### ② 回線別選択スイッチ・一斉スイッチ

- 回線別選択スイッチ1～10：1～10各スピーカー回線それぞれの入・切を制御します。
- 一斉スイッチ：1～10各スピーカー回線一斉に入・切の制御をおこなう。  
（スイッチユニット増設時には、すべての各スピーカー回線一斉に入・切）の制御をおこなう。）
- ※ミキサーユニットの電源起動スイッチを「入」にした時のみ、回線別・一斉の各スイッチで制御することができます。  
外部制御入力にて電源起動されている場合は、このスイッチで操作することができません。

### ③ 制御入出力

- 外部制御入力 27回路（無電圧メーク接点）
- チャイム制御入力 1回路（無電圧メーク接点）
- 電源起動制御入力 3回路（無電圧メーク接点）
- 本体使用中表示出力 2回路（トランジスタ出力 DC35V50mA）  
出荷時にあらかじめ動作を設定しております。（⑤項）

### ④ 本機の接続

各部の名称と説明の項をご覧になり、各コネクタを指定されたユニットのコネクタに接続してください。別売の接続用コードをお使いいただきますと簡単に接続できます。なお、標準的な組合せでない場合、あるいは別売のコードをご使用にならない場合は、別途ご手配ください。

注)本機はコネクタJC7を出力リレーユニットRIU-2301Aに接続して、DC電源が供給されないと動作しません。

### ⑤ 出荷時の設定

〔制御端子〕 JC3A、JC3B、JC4に別売りコードVG-2、3、4を接続した場合の端子台名称を表しています。

・TB-2 1A, 1B, 1C	電源起動(Rp)				
・TB-1 6B	チャイム制御(CH)	一斉放送	一斉起動(AUユニット)	使用中表示灯 A点灯	
・TB-1 4B, 10C (並列接続)	リモートマイク	一斉放送	フェーダー制御B・C	使用中表示灯 D点灯	
・TB-1 1A	リモートマイク	回線 1	フェーダー制御B・C	使用中表示灯 D点灯	
・TB-1 1B	リモートマイク	回線 2	フェーダー制御B・C	使用中表示灯 D点灯	
・TB-1 1C	リモートマイク	回線 3	フェーダー制御B・C	使用中表示灯 D点灯	
・TB-1 2A	リモートマイク	回線 4	フェーダー制御B・C	使用中表示灯 D点灯	
・TB-1 2B	リモートマイク	回線 5	フェーダー制御B・C	使用中表示灯 D点灯	
・TB-1 2C	リモートマイク	回線 6	フェーダー制御B・C	使用中表示灯 D点灯	
・TB-1 3A	リモートマイク	回線 7	フェーダー制御B・C	使用中表示灯 D点灯	
・TB-1 3B	リモートマイク	回線 8	フェーダー制御B・C	使用中表示灯 D点灯	
・TB-1 3C	リモートマイク	回線 9	フェーダー制御B・C	使用中表示灯 D点灯	
・TB-1 4A	リモートマイク	回線10	フェーダー制御B・C	使用中表示灯 D点灯	
・TB-1 6A	外部制御	一斉放送	フェーダー制御C	使用中表示灯 C点灯	
・TB-1 5B, 10B (並列接続)	ページング②	一斉放送		使用中表示灯 B点灯	
・TB-1 5A, 10A (並列接続)	ページング①	一斉緊急放送		使用中表示灯 B点灯	

※(注1) この項において、一斉放送・一斉緊急放送の一斉とは回線1～10一斉です。

(注2) スピーカースイッチユニットを増設した場合、チャイム制御入力に限り、どのユニットのチャイム制御入力を制御してもすべてのスピーカー回線の一斉放送ができます。

## 各種の機能

### ① スピーカー回線スイッチの増設

本機を2台増設することができます。

### ② 一斉スイッチ

ア) 一斉放送から、一斉緊急放送に変更できます。(10ページ)

イ) 一斉スイッチを割込放送スイッチに変更できます。割込放送とは、その他の入力信号機能に優先して、特定の入力(ミキサーユニットのA入力)のみ放送する機能です。音量はミキサーユニットで個別に設定できます。(10ページ)

### ③ 回線別選択スイッチをスピーカー回線のグループ制御動作に変更することができます。(10ページ)

例) スピーカー回線1のスイッチで、スピーカー回線1と3と5をまとめて入・切できます。ただし、この変更には次の制約があります。

ア) 1～5、6～10の5スイッチのセットで変更になります。(したがって、使わないスイッチができることもあります。)

イ) グループ制御と、個別制御の両方を1つのスイッチですることはできません。

ウ) グループ制御にしたスイッチの数だけ、外部制御入力が減ります。

### ④ 外部制御ができます。

外部より制御信号をもらって本体ラックを制御する機能で、リモコン、ページングやチャイム等に使用します。放送パターンや、信号入力回路の選択を任意に設定できます。また、割込放送制御の設定も可能です。出荷時に動作が設定されている部分もあります。(5ページ⑤項) (ダイオードの取付による設定)

### ⑤ 外部制御機器の使用中表示をすることができます。

A、B、C、D4灯で、Aはチャイム制御・一斉起動(AUユニット)に固定されています。B、C、D、は任意に設定することもできます。(ダイオードの取付による設定) (9ページ⑤項)

### ⑥ 本ラックの使用中表示信号を出せます。(TB-2の2A、2Bで使用中表示1と2です)

トランジスタ出力(オープンコレクター) DC35V 50mA (定格内でご使用ください。)

●本ラック動作時 ON (出力信号ローレベル)

●非動作時 OFF (出力信号ハイレベル)

出力1 (BUSY1) TB-2 2A 本体側起動および外部機器使用中表示灯〈A、B、C〉点灯時出力

出力2 (BUSY2) TB-2 2B 本体側起動および外部機器使用中表示灯〈A、B、D〉点灯時出力

### ⑦ 本ラックの電源起動ができます。(TB-2の1A、1B、1Cで電源起動1～3です。)

### ⑧ 外部制御信号に優先をつけることができます。(10ページ)

固定あるいは、先着優先にて8回路まで。オプションの優先制御基板RK-SR1と優先制御選択基板RK-SR2が必要。後着優先はできません。

## 各機能の設定のしかた

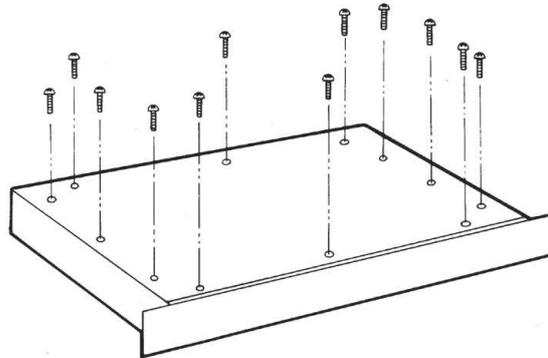
本機内部のダイオードマトリクス基板PK-RR101DM(1)、PK-RR101DM(2) (以下DM基板といいます) にダイオードを必要な数量を取り付けることで設定できます。(製品を見ながらお読みください。)

注) ダイオードは定格100V 1A以上のものをご使用ください。

### ① 本機のふたのはずしかた

上ふたを止めているねじ12本をはずし、上ふたを取り外してください。(図1参照)

図1

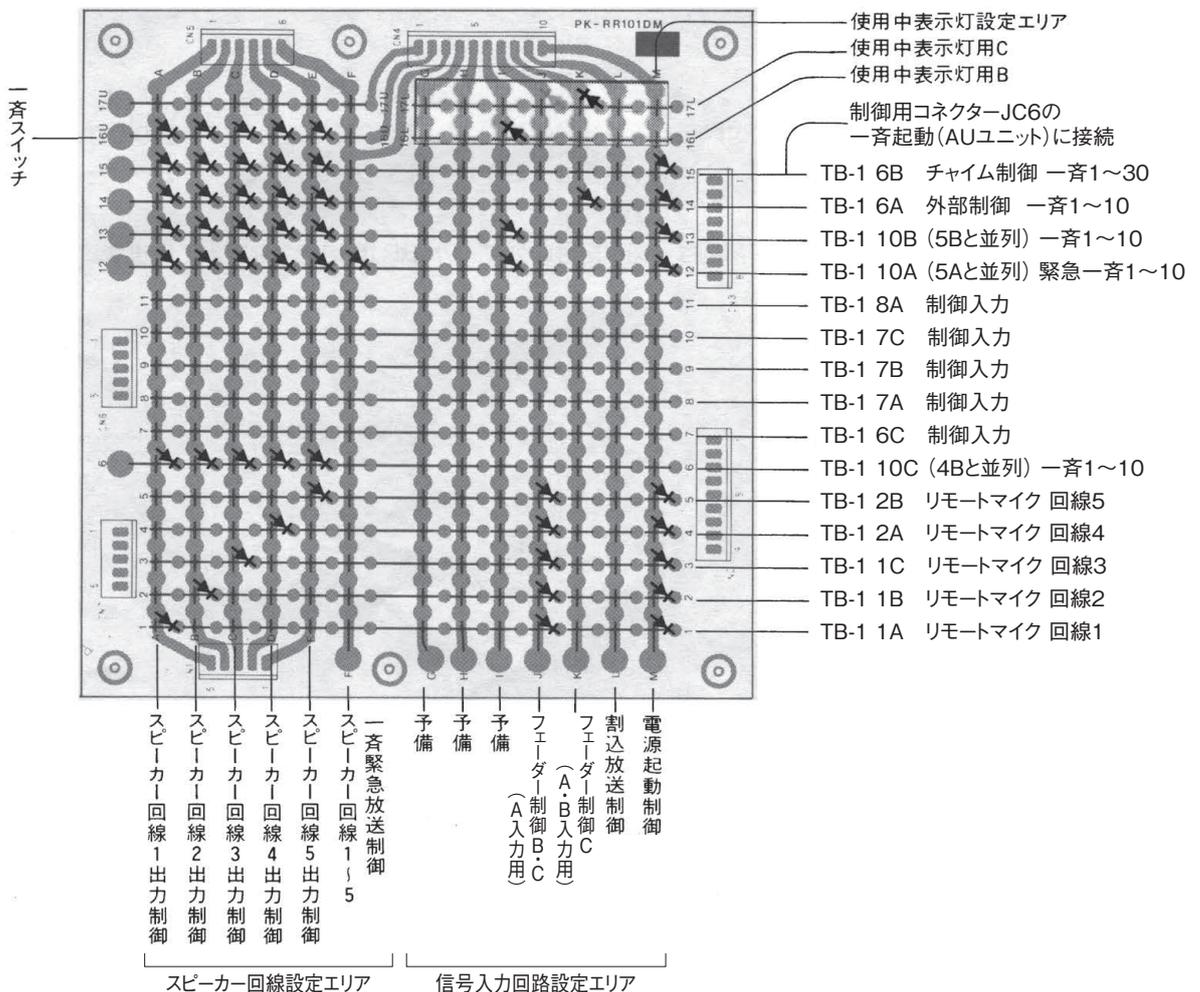


### ② DM基板の説明

本機には、DM基板が2枚あり、各々パネル面の回線別スイッチ1~5、6~10と対応しています。DM基板には、A~Mバー(列といいます)と、1~17のバー(行といいます)が裏表に直交しています。(A~M、1~17の記号はDM基板に印刷されています) その交点にダイオードを取付け行と列を接続します。A~M列、16L、17L行は各種機能を持ち、1~15、16U、17U行には制御信号がつながります。

#### ●PK-RR101DM(1) スピーカー回線 1~5制御

図2





## 外部制御の機能設定方法

外部よりの制御信号を接続する端子を決定し(制御信号の入力されるDM基板の行が決まります。「1~14行」)、機能を持った列(A~M等)との交点にて、必要なだけのダイオードでつないでください。ダイオードは図2、3を参照し取り付けてください。A~M列より1~14行のほうへ電流が流れるよう(印刷の向きに合わせて)ダイオードを取り付けます。制御線をどのように使用するかを、あらかじめ決めておいてください。

### 設定の手順

図2、3を参照しながら、次の番号の順に決定し取り付けてください。

#### ①外部制御信号を接続する端子を決定します。

(TB-1の1A、1B、1C、2A、2B、2C、3A、3B、3C、4A、4B、5A、5B、6A、6C、7A、7B、7C、8A、8B、8C、9A、9B、9C、10A(5Aと並列)、10B(5Bと並列)、10C(4Bと並列))

#### ②電源起動制御(Rp)の設定

本体ラックシステムの電源を入・切する機能です。①で決定された制御入力と、M列との交点にダイオードを取り付けます。

※外部制御機器が電源起動の専用制御線を持っている場合は、電源起動制御入力TB-2の1A、1B、1Cを使用することもできます。この場合、M列のダイオードは不要です。

#### ③フェーダー制御の設定

フェーダー制御をする機能です。このエリアの列(J~K)のうち、1つを選びます。

①で決定したバー(行)と、J、K列(フェーダー制御B・C、C対応)のどちらかとの交点にダイオードを付けます。フェーダーを外部制御しない場合は、この項の設定はいりません。

#### ④スピーカー回線の設定

どのスピーカー回線を使用するかを決め、その入・切を制御する機能です。①で決定した行と、A~F列との交点にダイオードを付けます。(この機能は、複数個を取り付けることができます。)

例1)スピーカー回線1~3使用：DM基板(1)のABC列との交点に、ダイオードを付けます。(3個)

例2)スピーカー回線1~10一斉：DM基板(1)と(2)のA~E列との交点、それぞれにダイオードを付けます。(10個)

例3)一斉緊急放送：DM基板(1)と(2)のF列との交点、それぞれにダイオードを付けます。(2個)

#### ⑤使用中表示灯の設定

使用中表示灯を点灯させる機能です。③で選択し、設定した信号入力回路の列(G~K)と、16L、17L(使用中表示灯設定エリア)との交点に、ダイオードを付けます。このとき、DM基板の□□で示した場所のダイオードは、他とは逆の取り付けかたをしてください。

- DM基板(1)の16L行は、表示灯B
- DM基板(1)の17L行は、表示灯C
- DM基板(2)の17L行は、表示灯D

※表示灯Aは、あらかじめチャイム制御(TB-1の6B)に設定されています。

Aを点灯したい場合は、チャイム制御入力をご使用ください。

注)②、③の機能については、制御がDM基板(1)、(2)の両方にまたがっている場合は②、③それぞれ1個のダイオードを、どちらかの基板に取り付けてください。(両方にはいりません)

注)④のスピーカー回線設定用のダイオードは、すべての回線の分を取り付けることができます。

## 一斉スイッチの機能の変更

### ① 一斉緊急放送にする方法 [2つの方法があります。]

- DM基板(PK-RR101DM (1)、(2))の16U行に付けてあるダイオード(10個)をはずし、16U行とF列の交点にダイオードを取り付けてください。
- 基板(PK-RR101J)のD4,D5をはずしてD7,D8にダイオードを取り付けてください。

### ② 割込放送にする場合

図4のPK-RR101Jでの作業は次のとおりです。

ア) J25とJ26を線でつなぎます。

イ) ア)でつないだ線を切らないように、J25とJ26を切ってください。(図4の×印の箇所。)

ウ) 26とTPをつなぎます。(線材は別途手配願います。)

エ) 27と28をつなぎます。(線材は別途手配願います。)

図3のDM基板(2)での作業は次のとおりです。

ア) 16L行とM、L列それぞれとの交点にダイオード2個を付けます。

注) スピーカー回線は一斉放送で、一斉緊急放送にする場合は①の作業も必要です。

## 回線別選択スイッチで、スピーカー回線のグループ制御をする方法

あらかじめ、スピーカー回線の放送パターンを決めておいて、そのグループを1つのスイッチで入・切する方法です。  
注) 変更したいスイッチが1個であっても、5個一諸に変更されます。

### 次の手順で変更してください。

ア) DM基板のCN1をはずしてください。

イ) ア)ではずしたコードをCN6あるいはCN7につないでください。DM基板(1)と(2)にまたがってグループとするときは、CN6につなぎ、そのうち10行、11行を使用してください。(PK-RR101Jでつなげます。)

ウ) イ)の操作で各スイッチにつながるDM基板の行が決まりますので、その行とA~F列(スピーカー回線制御)との交点に必要な数のダイオードを取り付けてください。

注1) 10行、11行で2つのDM基板にまたがって使用するときは、基板PK-RR101Jで10行では、43と47を、11行では44と48をつないでください。(線材は別途手配願います。)

注2) CN7で接続される部分は、出荷時の設定ですすでに使用しています。

## 制御信号に優先をつける方法

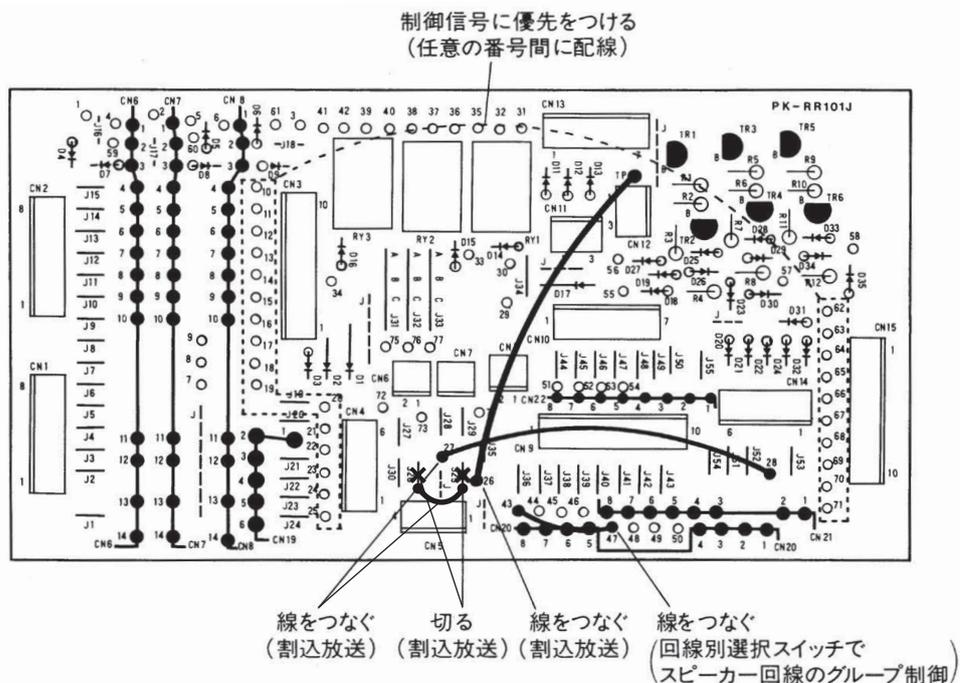
固定優先、あるいは先着優先で、8回路までです。また、優先回路の数により、次のオプションの基板が必要になります。

- 4回路まで 優先制御選択基板 RK-SR2×1/優先制御基板 RK-SR1×1
  - 8回路まで 優先制御選択基板 RK-SR2×1/優先制御基板 RK-SR1×2
- RK-SR1、RK-SR2の取扱説明書に従って取付、接続してください。RK-SR2の基板(DM基板になっています)にダイオードを接続しますと、TB-2の3B、3C、4A、4B、4C、5A、5B、5Cが、優先COMとなります。優先関係の制御信号は、PK-RR101J(図4)のCN3、CN4のとなりにある10~25より、CN15のとなりにある62~71へ任意に配線し、優先回路入力にします。(線材は別途手配願います。)
- スピーカースイッチユニットRIS-R101Aを増設している場合、どのスイッチユニットにもオプション基板を取り付けることができます。接続に一番便利なユニットに取り付けてください。

### 「動作原理」

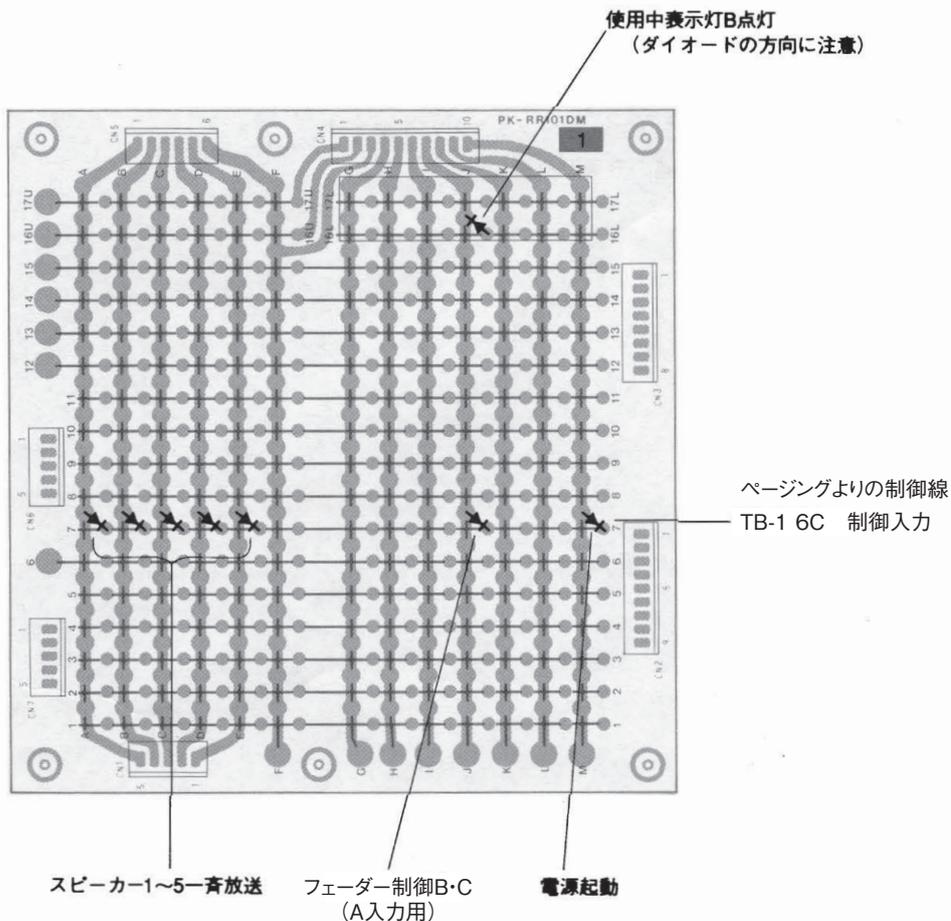
最優先以外の優先関係にある制御信号のCOMはすべて優先COMに接続し、優先される回路のCOMを切断することにより、優先を付けます。(8回路ですべて先着優先としたときには、ダイオードが56個必要です。)オプションの基板RK-SR2、RK-SR1の取扱説明書を合わせてご覧ください。

図4



ページング設定の実際例 (参考にしてください)

ここでは、TB-1 6C 制御入力をページングよりの制御入力とし、フェーダー制御B・Cを行うページング放送として、スイッチユニットのスピーカー回線1~5の斉放送を実際例として、ダイオードの取付けを記入しました。使用中表示灯はBが点灯します。



注) ダイオードをハンダ付けするときは、40W以下のハンダごてを使用してください。

## 増設 表示は30回線時/20回線時は( )内

### ●増設に必要なコード及び接続

- ・制御入力 JC4 外線接続用コード VG-4/27A 1本(1本)  
JC3A, JC3B 外線接続用コード VG-2/27A 2本(1本)
  - ・出力リレー制御 ユニット間接続用コード VU-5/23A 2本(1本)  
本機 JC7 —— 出力リレーユニットRIU-2301A JC2, JC3
  - ・スイッチユニット間の制御接続 ユニット間接続用コード VU-4/1A 2本(1本)  
元(1~10回線用) JC2 —— 増設(11~20回線用) JC1  
増設(11~20回線用) JC2 —— 増設(21~30回線用) JC1
- ミキサーユニット RUX-3210 の接続図参照

### ●一斉スイッチ

- 増設しますと一斉スイッチが3個(2個)存在することになります。
- ・標準仕様するとき 3個共、同機能(一斉放送)
  - ・一斉緊急放送に変更可 3個共、同機能(ダイオード取付の変更)
  - ・3個別々の機能をもたせることもできますが、内部接続の変更が必要です。

### ●外部機器使用中表示灯(A, B, C, D)

- 増設しますと使用中表示灯が3組(2組)存在することになります。
- ・標準仕様するとき同一の表示をおこないます。  
(A=A, B=B, C=C, D=D)
  - ・別々の表示をおこなうこともできます。(Aの表示を除く)  
DM基板のダイオード設定を変更します。  
(各DM基板 16L, 17Lの設定)  
9ページ⑤項参照

### ●制御信号のユニット間分配

- 各ユニット別々に入力された制御信号を増設用コネクタJC1, JC2の1, 2, 4, 5, 6, 7のラインを用いて他のスイッチユニットへ送ることが可能です。  
(内部接続の変更が必要です。)

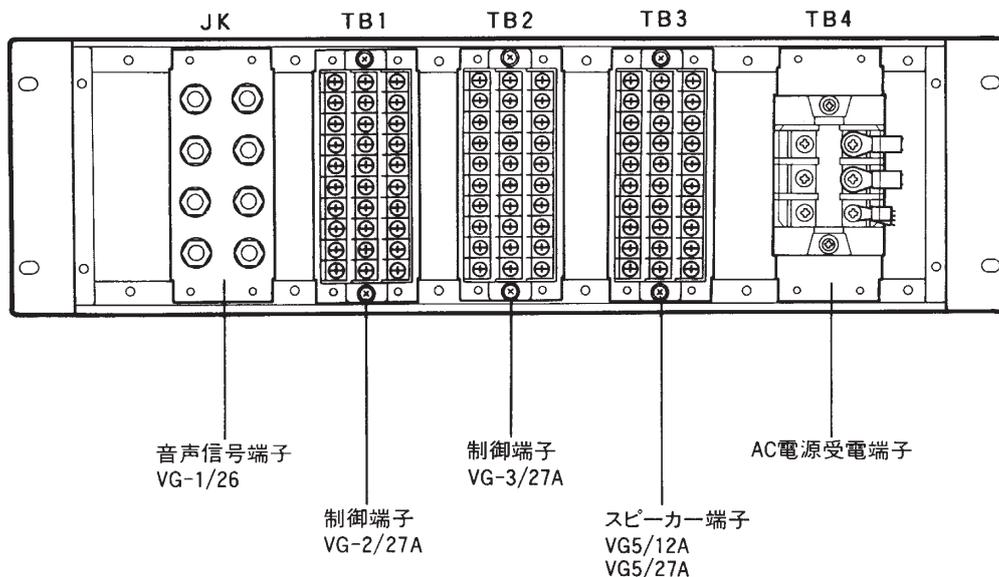
## 外線接続ユニット RIJ-3091への取付方法 (外線接続用コード端子)

外線接続ユニットRIJ-3091に外線接続用コード端子を取付ける場合は、下記の図のように端子を配置取付けを行ってください。

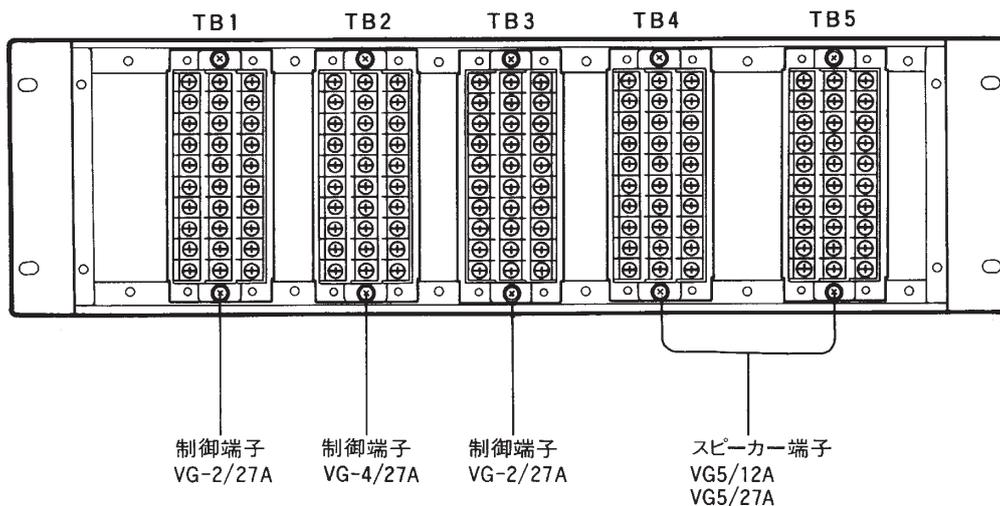
10回線の場合は、RIJ-3091が1台、20・30回線の場合は2台必要です。

ラック本体正面より

[10回線]



[20.30回線時追加]



外線接続ユニットRIJ-3091には、端子表(ノリ付き)が付属しています。

この取扱説明書にある端子表同様に記入し、RIJ-3091のふた内側に貼りつけるか、ラック近辺に備えつけて下さい。点検・サービス時に必要です。

# 端子表 1

標準コードを用いて13ページのように外線接続ユニットRJ-3091へ取り付けますと、下記の端子配列・機能になります。  
(ユニットの仕様に追加・変更のない場合)

## 音声信号端子

JK(VG-1/26)

JK-1

JK-2

JK-3

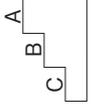
JK-4

JK-5

JK-6

JK-7

JK-8



## 制御端子 1

TB-1(VG-2/27A)

A	リモートマイク 回線1	(フェーダーB・C)	
<b>1</b>	B	リモートマイク 回線2 (フェーダーB・C)	
C	リモートマイク 回線3 (フェーダーB・C)		
A	リモートマイク 回線4	(フェーダーB・C)	
<b>2</b>	B	リモートマイク 回線5 (フェーダーB・C)	
C	リモートマイク 回線6	(フェーダーB・C)	
A	リモートマイク 回線7	(フェーダーB・C)	
<b>3</b>	B	リモートマイク 回線8 (フェーダーB・C)	
C	リモートマイク 回線9	(フェーダーB・C)	
A	リモートマイク 回線10	(フェーダーB・C)	
<b>4</b>	B	リモートマイク 一斉1~10 (フェーダーB・C)	
C	制御COM※		
A	ページング①	緊急一斉1~10	
<b>5</b>	B	ページング② 一斉1~10	
C	制御COM※		
A	外部制御 一斉1~10	(フェーダーC)	
<b>6</b>	B	チャイム制御 一斉1~30 (CH)	
C	制御入力	設定なし	
A	制御入力	設定なし	
<b>7</b>	B	制御入力	設定なし
C	制御入力	設定なし	
A	制御入力	設定なし	
<b>8</b>	B	制御入力	設定なし
C	制御入力	設定なし	
A	制御入力	設定なし	
<b>9</b>	B	制御入力	設定なし
C	制御入力	設定なし	
A	5Aと並列	緊急一斉1~10	
<b>10</b>	B	5Bと並列 一斉1~10	
C	4Bと並列 一斉1~10	(フェーダーB・C)	

## 制御端子 2

TB-2(VG-3/27A)

A	電源起動力 1	(RP)	
<b>1</b>	B	電源起動力 2 (RP)	
C	電源起動力 3	(RP)	
A	使用中表示出力 1	(BUSY)	
<b>2</b>	B	使用中表示出力 2 (BUSY)	
C	NC		
A	制御COM		
<b>3</b>	B	(優先COM 1)	
C	(優先COM 2)		
A	(優先COM 3)		
<b>4</b>	B	(優先COM 4)	
C	(優先COM 5)		
A	(優先COM 6)		
<b>5</b>	B	(優先COM 7)	
C	(優先COM 8)		
A	_____		
<b>6</b>	B	_____	
C	_____		
A	_____		
<b>7</b>	B	_____	
C	_____		
A	_____		
<b>8</b>	B	_____	
C	_____		
A	通電表示(DC24V出力) +		
<b>9</b>	B	通電表示(DC24V出力) -	
C	_____		
A	非常制御入力	H	
<b>10</b>	B	非常制御入力	C
C	_____		

## スピーカー端子 1

TB-3(VG-5/12A, VG-5/27A)

A	_____	N
<b>1</b>	B	スピーカー 1 R
C	_____	C
A	_____	N
<b>2</b>	B	スピーカー 2 R
C	_____	C
A	_____	N
<b>3</b>	B	スピーカー 3 R
C	_____	C
A	_____	N
<b>4</b>	B	スピーカー 4 R
C	_____	C
A	_____	N
<b>5</b>	B	スピーカー 5 R
C	_____	C
A	_____	N
<b>6</b>	B	スピーカー 6 R
C	_____	C
A	_____	N
<b>7</b>	B	スピーカー 7 R
C	_____	C
A	_____	N
<b>8</b>	B	スピーカー 8 R
C	_____	C
A	_____	N
<b>9</b>	B	スピーカー 9 R
C	_____	C
A	_____	N
<b>10</b>	B	スピーカー 10 R
C	_____	C

## 電源端子

TB-4(付属コード)

<b>1</b>	AC100V	P1
<b>2</b>	AC100V	P2
<b>3</b>	GND	

※VG-2/27A(上図TB-1)の4C,5Cに接続済のリードをVG-3/27A(上図TB-2)の3A(制御COM)に接続してください。

## 端子表 2

標準コードを用いて13ページのよう以外線接続ユニットRJ-3091へ取り付けますと、下記の端子配列・機能になります。

(ユニットの仕様に追加・変更のない場合) 2番目のスイッチユニット(11~20回線)の制御入力端子はTB-1とTB-2の1~5, 3番目(21~30回線)の制御入力端子はTB-3とTB-2の6~10。

### 制御端子3

TB-1(VG-2/27A)

A	リモートマイク 回線11 (フェーダーB・C)		
<b>1</b>	B リモートマイク 回線12 (フェーダーB・C)		
C	リモートマイク 回線13 (フェーダーB・C)		
A	リモートマイク 回線14 (フェーダーB・C)		
<b>2</b>	B リモートマイク 回線15 (フェーダーB・C)		
C	リモートマイク 回線16 (フェーダーB・C)		
A	リモートマイク 回線17 (フェーダーB・C)		
<b>3</b>	B リモートマイク 回線18 (フェーダーB・C)		
C	リモートマイク 回線19 (フェーダーB・C)		
A	リモートマイク 回線20 (フェーダーB・C)		
<b>4</b>	B リモートマイク 一斉11~20(フェーダーB・C)		
C	制御COM*		
A	ページング① 緊急一斉11~20		
<b>5</b>	B ページング② 一斉11~20		
C	制御COM*		
A	外部制御 一斉11~20 (フェーダーC)		
<b>6</b>	B チャイム制御 一斉1~30 (CH)		
C	制御入力 設定なし		
A	制御入力 設定なし		
<b>7</b>	B 制御入力 設定なし		
C	制御入力 設定なし		
A	制御入力 設定なし		
<b>8</b>	B 制御入力 設定なし		
C	制御入力 設定なし		
A	制御入力 設定なし		
<b>9</b>	B 制御入力 設定なし		
C	制御入力 設定なし		
A	5Aと並列 緊急一斉11~20		
<b>10</b>	B 5Bと並列 一斉11~20		
C	4Bと並列 一斉11~20 (フェーダーB・C)		

### 制御端子4

TB-2(VG-4/27A)

A	電源起動手入力 4 (RP)		
<b>1</b>	B 電源起動手入力 5 (RP)		
C	電源起動手入力 6 (RP)		
A	使用中表示出力 3 (BUSY)		
<b>2</b>	B 使用中表示出力 4 (BUSY)		
C	NC		
A	制御COM		
<b>3</b>	B (優先COM 9)		
C	(優先COM 10)		
A	(優先COM 11)		
<b>4</b>	B (優先COM 12)		
C	(優先COM 13)		
A	(優先COM 14)		
<b>5</b>	B (優先COM 15)		
C	(優先COM 16)		
A	電源起動手入力 7 (RP)		
<b>6</b>	B 電源起動手入力 8 (RP)		
C	電源起動手入力 9 (RP)		
A	使用中表示出力 5 (BUSY)		
<b>7</b>	B 使用中表示出力 6 (BUSY)		
C	NC		
A	制御COM		
<b>8</b>	B (優先COM 17)		
C	(優先COM 18)		
A	(優先COM 19)		
<b>9</b>	B (優先COM 20)		
C	(優先COM 21)		
A	(優先COM 22)		
<b>10</b>	B (優先COM 23)		
C	(優先COM 24)		

### 制御端子5

TB-3(VG-2/27A)

A	リモートマイク 回線21 (フェーダーB・C)		
<b>1</b>	B リモートマイク 回線22 (フェーダーB・C)		
C	リモートマイク 回線23 (フェーダーB・C)		
A	リモートマイク 回線24 (フェーダーB・C)		
<b>2</b>	B リモートマイク 回線25 (フェーダーB・C)		
C	リモートマイク 回線26 (フェーダーB・C)		
A	リモートマイク 回線27 (フェーダーB・C)		
<b>3</b>	B リモートマイク 回線28 (フェーダーB・C)		
C	リモートマイク 回線29 (フェーダーB・C)		
A	リモートマイク 回線30 (フェーダーB・C)		
<b>4</b>	B リモートマイク 一斉21~30(フェーダーB・C)		
C	制御COM*		
A	ページング① 緊急一斉21~30		
<b>5</b>	B ページング② 一斉21~30		
C	制御COM*		
A	外部制御 一斉21~30 (フェーダーC)		
<b>6</b>	B チャイム制御 一斉1~30 (CH)		
C	制御入力 設定なし		
A	制御入力 設定なし		
<b>7</b>	B 制御入力 設定なし		
C	制御入力 設定なし		
A	制御入力 設定なし		
<b>8</b>	B 制御入力 設定なし		
C	制御入力 設定なし		
A	制御入力 設定なし		
<b>9</b>	B 制御入力 設定なし		
C	制御入力 設定なし		
A	5Aと並列 緊急一斉21~30		
<b>10</b>	B 5Bと並列 一斉21~30		
C	4Bと並列 一斉21~30 (フェーダーB・C)		

### スピーカー端子2

TB-4(VG-5/12A, VG-5/27A)

A	スピーカー 11		
<b>1</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 12		
<b>2</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 13		
<b>3</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 14		
<b>4</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 15		
<b>5</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 16		
<b>6</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 17		
<b>7</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 18		
<b>8</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 19		
<b>9</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 20		
<b>10</b>	B スピーカー		
C			

### スピーカー端子3

TB-5(VG-5/12A, VG-5/27A)

A	スピーカー 21		
<b>1</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 22		
<b>2</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 23		
<b>3</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 24		
<b>4</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 25		
<b>5</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 26		
<b>6</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 27		
<b>7</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 28		
<b>8</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 29		
<b>9</b>	B スピーカー		
C			
A	スピーカー 30		
<b>10</b>	B スピーカー		
C			

A

B

C

\*VG-2/27A(上図TB-1, TB-3)の4C, 5Cに接続済のリードをVG-4/27A(TB-2)の3A, 8Aに接続してください。

# 端子表1

BNC(VG-7/34)

BNC1	
------	--

BNC2	
------	--

BNC3	
------	--

BNC4	
------	--

JK(VG-1/26)

JK-1	
------	--

JK-2	
------	--

JK-3	
------	--

JK-4	
------	--

JK-5	
------	--

JK-6	
------	--

JK-7	
------	--

JK-8	
------	--

TB-1(VG-2/27A)

1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB-2(VG-3/27A)

1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB-3(VG-5/12A, VG-5/27A)

1	A		N
	B		R
	C		C
2	A		N
	B		R
	C		C
3	A		N
	B		R
	C		C
4	A		N
	B		R
	C		C
5	A		N
	B		R
	C		C
6	A		N
	B		R
	C		C
7	A		N
	B		R
	C		C
8	A		N
	B		R
	C		C
9	A		N
	B		R
	C		C
10	A		N
	B		R
	C		C

TB-4(付属)

1	AC100V	P1
2	AC100V	P2
3	GND	

# 端子表2

TB-1(VG-2/27A)

1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB-2(VG-4/27A)

1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB-3(VG-2/27A)

1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB-4(VG-5/12A, VG-5/27A)

1	A		N
	B		R
	C		C
2	A		N
	B		R
	C		C
3	A		N
	B		R
	C		C
4	A		N
	B		R
	C		C
5	A		N
	B		R
	C		C
6	A		N
	B		R
	C		C
7	A		N
	B		R
	C		C
8	A		N
	B		R
	C		C
9	A		N
	B		R
	C		C
10	A		N
	B		R
	C		C

TB-5(VG-5/12A, VG-5/27A)

1	A		N
	B		R
	C		C
2	A		N
	B		R
	C		C
3	A		N
	B		R
	C		C
4	A		N
	B		R
	C		C
5	A		N
	B		R
	C		C
6	A		N
	B		R
	C		C
7	A		N
	B		R
	C		C
8	A		N
	B		R
	C		C
9	A		N
	B		R
	C		C
10	A		N
	B		R
	C		C

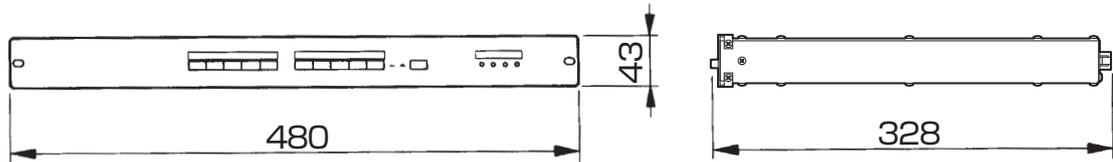
## 定格

使用電源	DC 24V (制御用電源より受電)				
消費電流	DC0.05A (最大消費時の平均)				
回線スイッチ	10回線 一斉付				
制御入力	外部制御 27(無電圧メーク接点)ダイオード取付による設定 チャイム制御 1(無電圧メーク接点)ダイオード取付による設定 電源起動 3(無電圧メーク接点)				
制御出力	本体使用中表示 2(トランジスター出力・DC35V 50mA,出力信号ローレベル) No.1:本体側起動及び外部機器使用中表示灯《A・B・C》点灯時 出力 No.2:本体側起動及び外部機器使用中表示灯《A・B・D》点灯時 出力				
制御用ユニット 間 接 続 器	ミキサーユニット用	1			
	電源制御ユニット用	1			
	増設スイッチユニット用	2			
	出力リレーユニット用	1			
動作表示	外部制御機器使用中表示灯(発光ダイオード) 赤 4(A,B,C,D)				
付 帯 機 能	<ul style="list-style-type: none"> <li>出力リレーユニットの動作及び回線スイッチと出力リレーとの対応は変更可能</li> <li>一斉スイッチは一斉緊急動作に変更可能</li> <li>外部制御、チャイム制御入力信号により使用中表示灯を点灯できる</li> </ul> 上記機能は、ダイオードマトリクス回路へダイオード追加により可能				
使用温度範囲	-10℃～+50℃				
外 装	パネル 鋼板 塗装仕上げ マンセルN4.5近似色 グレー ケース メッキ鋼板				
寸 法	幅480mm 高さ43mm 奥行328mm(EIAサイズ 1U)				
質 量	約4kg				
付 属 品	M5×9 ねじ 2、 M5×10 セムスボルト 4、 機器受金具 2、 取扱説明書(保証書付) 1				
付 加 機 能	制御に優先を付けることが可能。固定あるいは先着優先にて8パターンまで。 (優先制御基版RK-SR1,優先制御選択基版RK-SR2組込時)				
出荷時設定	(ダイオード取付等による) ・一斉スイッチ 一斉放送 ・TB-2 1A, 1B, 1C 電源起動(Rp) ・TB-1 6B チャイム制御(CH) 一斉放送 一斉起動(AUユニット) 使用中表示灯 A点灯 ・TB-1 4B, 10C (並列接続) リモートマイク 一斉放送 フェーダー制御B・C 使用中表示灯 D点灯 ・TB-1 1A リモートマイク 回線 1 フェーダー制御B・C 使用中表示灯 D点灯 ・TB-1 1B リモートマイク 回線 2 フェーダー制御B・C 使用中表示灯 D点灯 ・TB-1 1C リモートマイク 回線 3 フェーダー制御B・C 使用中表示灯 D点灯 ・TB-1 2A リモートマイク 回線 4 フェーダー制御B・C 使用中表示灯 D点灯 ・TB-1 2B リモートマイク 回線 5 フェーダー制御B・C 使用中表示灯 D点灯 ・TB-1 2C リモートマイク 回線 6 フェーダー制御B・C 使用中表示灯 D点灯 ・TB-1 3A リモートマイク 回線 7 フェーダー制御B・C 使用中表示灯 D点灯 ・TB-1 3B リモートマイク 回線 8 フェーダー制御B・C 使用中表示灯 D点灯 ・TB-1 3C リモートマイク 回線 9 フェーダー制御B・C 使用中表示灯 D点灯 ・TB-1 4A リモートマイク 回線10 フェーダー制御B・C 使用中表示灯 D点灯 ・TB-1 6A 外部制御 一斉放送 フェーダー制御C 使用中表示灯 C点灯 ・TB-1 5B, 10B (並列接続) ページング② 一斉放送 使用中表示灯 B点灯 ・TB-1 5A, 10A (並列接続) ページング① 一斉緊急放送 使用中表示灯 B点灯				



## 外觀寸法図

(単位:mm)



## サポートのご案内

### ■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況 (できるだけ具体的にお願いします)

### ■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ  
もしくはQRコードにアクセス  
してください。

<http://www.unipex.co.jp>



### ■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

**UNI-PEX 0120-56-5245** (通話料無料)

お客様ご相談センター 受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日除く)

PHS・携帯電話からのご利用は、

**072-855-3334** (通話料がかかります)

#### 【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

## R型スピーカースイッチユニット RIS-R101A 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前 <b>見本</b> 様 ご住所 〒 電話( ) -
販売店	店名・住所 電話( ) - 印

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)

#### 保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
(This warranty is valid only in Japan)

#### 無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

#### 無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。